

第 2 報 医療被ばく線量管理システム「onti」にさらなる機能拡張を追加

PDRファーマ株式会社(本社:東京都中央区/代表取締役社長:村上 雅人)は、2025 年 3 月 17 日に発表した医療被ばく線量管理システム「onti」^{*1} の機能追加に続き、さらなる機能拡張として「小児核医学検査における適正投与量の自動計算」および「PDR 製品の標識手順書の閲覧」機能を新たに追加し、2025 年 4 月 11 日より提供を開始いたします。

新機能【小児核医学検査における適正投与量の自動計算機能】の追加

- ① 「小児核医学検査適正施行のコンセンサスガイドライン 2020^{*2} (以下、ガイドラインという。)」に提示されている投与量計算方法を「onti」に組み込みました。
- ② 医療機関のオーダーリングシステム等と連携することで、「onti」が適正投与量を自動計算します。

本機能により、煩雑となっていたガイドラインの確認や適正投与量計算等の作業が簡素化されるため、計算ミス防止と業務効率化が期待できます。

新機能【PDR 製品の標識手順書の閲覧機能】の追加

- ① 標識手順や注意点を「onti」で確認できます。
- ② 標識手順書(冊子)を探す手間や保管スペースを削減できます。

本機能により、医療機関で RI(放射性同位元素)標識・調製する際の手順や注意点について、お手元の「onti」で速やかに確認できます。このため、標識手順書(冊子)を探す手間がなくなり、保管スペースの削減につながります。

当社は、放射性医薬品の供給にとどまらず、情報管理の課題解決にも取り組み、データやデジタル技術を活用した医療 DX と組み合わせたトータルソリューションを提供しています。今後も、安全で効率的な核医学診療の発展に貢献し、より高品質なサービスを提供してまいります。

PDRファーマについて

PDRファーマ株式会社(2022 年ペプチドリームグループに参画)は、1968 年に事業を開始して以来、放射性医薬品領域の先駆者として、放射性医薬品等の研究開発・製造・販売等を通じて高品質な放射性医薬品を提供してまいりました。現在 22 品目の放射性診断薬(SPECT 診断薬および PET 診断薬)、及び 8 品目(3 製品カテゴリー)の放射性治療薬を国内で販売しております。さらに、PDRファーマとペプチドリームは国内およびグローバル・マーケットに向けた放射性診断薬、ならびに放射線治療薬の広範なパイプラインを開発しています。詳細については、<https://www.pdradiopharma.com/>をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
PDRファーマ株式会社 総務部 村上
E-mail: s-info-hq@pdradiopharma.com

^{*1} 医療被ばく線量の電子記録・管理・最適化を支える情報システム。当社の DX(Digital Transformation)製品の一つとして、2023 年 10 月より当社にて販売。

^{*2} 一般社団法人日本核医学会 小児核医学検査適正施行検討委員会: 小児核医学検査適正施行のコンセンサスガイドライン 2020